

【中学生】柔道形競技大会（録画審査方式） 動画撮影要領

1. 動画撮影について

(1) 服装

- ①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。
柔道衣は取受ともに白とする。男子のインナー着用は不可とし、女子のTシャツは白とする。
- ②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。
- ③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。

(2) 撮影範囲・位置取り

- ①四間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。
※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。演技中は、四間の間合い時(両者の距離約7.3m)に被写体が途切れることがないように撮影すること。
※逆に四間を大幅に超える場合は、演技映像が小さくなってしまうので注意すること。
- ②カメラの位置は概ね立礼時の演技者の帯～頭（上半身）を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること（ズームなども行わない）。固定する際、演技者とカメラが水平であることを確認すること。
- ③映像には演技者以外の人物や演技以外の音声が入らないようにすること。
- ④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。
- ⑤すべて正面側から撮影すること。
※カメラの方向に向かって「礼」を行う。
※取と受の位置を間違えないこと
- ⑥道場によって試合場や畳の大きさが異なる場合もあるため、そのような場合は場外での礼法位置を縮めても構わない。但し、場内での礼法位置は3間（もしくは中央から約275cm）を守ること。

図1 望ましい撮影範囲①（32畳）の場合



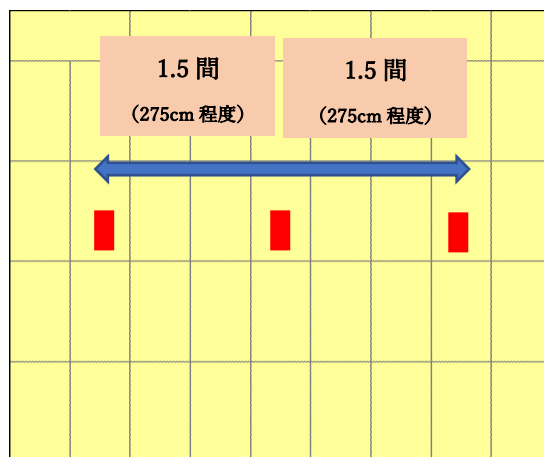
図2 望ましい撮影範囲②（50畳の場合）



(3) ラインテープ

- ①取と受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約 10 cm、長さ約 50 cmとする。
- ②テープ色は畳の色と同色を避けていけば問わない。
- ③中央（前後左右の中心）にテープを貼る。
- ④中央から一間半（約 275cm）空けた位置にテープの外側を合わせる。
- ⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる（テープは踏まない）
- ⑥道場によって試合場や畳の大きさが異なる場合があるため、原則として、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

図3 ラインテープの位置（40.5畳の場合）



(4) 動画

画質による審査への影響を排除するため、動画の規格を以下に定める。

- ①解像度は 1920×1080 以上であること。
- ②動画のフレームレート (fps) は概ね「30 もしくは 60」であること。
- ③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。
- ④動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での受取両方の立礼』」から「演技後の『場外での受取両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。
- ⑤解像度やフレームレートの確認方法は端末で異なるため、取扱説明書や web で確認すること。
- ⑥1 つのファイルのアップロード容量上限が 5GB を超えないこと。

【動画の画質確認方法】

【windows】

- ①動画ファイルを右クリックし、プロパティを開く
- ②「詳細」をクリックする
- ③「フレーム幅」「フレーム高」「フレーム率」を確認する

【mac】

- ①動画ファイルを右クリックし、「情報を見る」を選択する
- ②「大きさ」を見ると解像度が確認できる

2. 補足

(1) 所属団体での動画撮影と動画データの取り扱いについて

学校において教員による撮影が難しい場合は、各都道府県柔道連盟と連携し撮影を行うこと。

学校で撮影する場合には、器材の持ち込みや撮影活動について、事前に学校側に確認を行い、承認を得ること。

なお、必ずしも所属団体の道場で行う必要はない。

(2) 動画データの取り扱いについて

撮影した動画データは大会終了まで保管し、関係者（選手、保護者、当該選手の指導者、その他の許可された者）以外の者への拡散は認めない。

映像の管理責任は、各都道府県柔道連盟が負うこととする。

3. 撮影参考動画

2025 年度全日本学生柔道形競技大会（第 4 回）※各種目優勝ペア演技

投の形：<https://youtu.be/7NIE6SA1mqc>

固の形：<https://youtu.be/3DWwgKMxf5A>

柔の形：<https://youtu.be/S4GyjWACkdQ>

※撮影の方向や角度、画質等について参考にしてください。